

**北杜市地域公共交通会議
北杜市地域公共交通活性化協議会
(令和2年度第2回)
会 議 録**

北杜市企画部企画課

会 議 録

会 議 名：北杜市地域公共交通会議・北杜市地域公共交通活性化協議会（令和２年度第２回）

開催方法：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面審議を実施。

令和３年２月１５日（月）付けで書面を郵送し、２月２４日（水）締切にて
回答書を回収

会議次第：報告案件

- （１）北杜市民バスの運行状況について
- （２）北杜市民バスの愛称の選定結果について
- （３）地域公共交通運営委員会の活動状況について

協議案件

- （１）北杜市民バスの幹線のダイヤ改正について
- （２）明野・須玉エリアの支線の改正について
- （３）デマンドバスの車両配分の変更等について

会議資料：回答書、報告案件説明資料、協議案件説明資料

出席委員：深沢信、雨宮正英、篠原勇、菊島貴、清水政英、藤原廣吉、清水永一、坂本利訓、丸茂浩、
小石博、三井正三、輿石長時、和田喜則、藤巻伸夫、松澤尚利、山本貴司、田丸雄大、
藤原鉄也、利根川昇、小林初男、大芝政敏、小澤健二、鈴木文彦、小林明、仲嶋敏光
※全 25 名

1. 報告案件

(1) 北杜市民バスの運行状況について

○1月の乗車人数について

・デマンドバス（白州武川エリアと小淵沢エリア）の1月利用人数をみると少ない利用状況がづいつていることがわかります。利用方法の周知や運行方法などに問題点はないのか早急に見直していかなければならないと思います。（委員）

・白州・武川エリアへの利用促進を行ったほうがよい。（委員）

→1月の乗車人数については、北杜市民バス全体においても、前年同月比-15%となっております。新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の要因も考えられますが、各エリアの支線については、地域公共交通運営委員会を中心に、引き続き、周知や運行の工夫・改善の余地がないか検討を進めて参ります。なお、周知に関しては、報告案件（3）のとおり、各委員会にて周知チラシの作成を進めております。（北杜市企画課）

・朝夕運行するバスの運行状況で、4号車の一月乗車数が900人、内、日野春駅から北杜高校間で、約6割（約540人）が利用したとある。無料キャンペーン期間（8月から10月）終了後の利用であるので、固定乗客数と推測してもよいか？仮にそうであるならば、他のバス（例えば3号車）も北杜高校まで乗り入れたらどうか？（委員）

→ご提案ありがとうございます。

北杜高校については、現状、0号車及び4号車が乗り入れを行っている状況であり、その他の1～3号車については、長坂駅または日野春駅で、0号車に乗継ぐことで北杜高校へバス通学できるよう運行しております。この運行の考え方については、乗継ぎにより目的地までの移動手段を確保しつつ、各路線の運行距離を極力短く（1便あたりの運行時間を短く）し、便数を増やすことによる利便性向上を目指すもので、昨年4月の再編の1つのポイントとなっております。

3号車については、早朝より連続運転が続いており、朝8時前後の運行の合間に休憩時間を確保する必要があります。現状ダイヤにゆとりがないため、乗り入れを行った場合に、十分な休憩時間の確保が難しい状況があります。

今後、他の観点含め大幅な改正が発生する場合には、ご提案を踏まえ検討したいと思います。（北杜市企画課）

○市民バス無料キャンペーンについて

・運賃改正、無料キャンペーンの大変効果があり良かったと思います。

※日野春駅のバス専用区画、明白にしていけないでしょうか（朝夕の送迎者が多く、交通トラブルの元になるため）。（委員）

→ありがとうございます。

日野春駅のロータリーについては、JR東日本の所有・管理となります。現地を確認後、JR東日本と協議したいと思います。（北杜市企画課）

・無料キャンペーン期間（8～10月）に利用者が増えた事は、料金も検討の余地があるのかもしれませんが。例えば、3号車（西線）で、北杜市役所又オギノに行く場合、3号車と0号車の料金がかかります。乗継の場合、料金負担を減らす事は出来ないか？検討してはどうでしょうか。（委員）

→ありがとうございます。県内で最も市域が広い北杜市において、いかに乗継ぎを促すかということは、大きな課題であると考えております。

その観点から、昨年4月の再編時に運賃改定を行い全体的に値下げしております。路線バス（現、幹線）の普通運賃について、改定前は、距離に応じて1乗車210円から最大630円まででしたが、改定後は、距離に関わらず1乗車一律200円としております。例えば、白州町の「西村入口」から「日野春駅」で乗継いで「北杜市役所」まで行く場合に、改定前は520円+300円でしたが、改定後は200円+200円となっております。

北杜市地域公共交通網形成計画にて収支率の目標値が設定されていることから、今後の利用状況や収支率を鑑みながら、検討を行いたいと思います。（北杜市企画課）

- ・運行状況について、無料キャンペーン中に高校生の乗客が大きく増加していた結果が示されました。そこから更に踏み込んだ分析があっても良かったのではないかと思います（伸び率が大きかった路線や曜日変動などから、高校生以外の潜在的な利用を把握）。（委員）

→ご指摘ありがとうございます。今年度の運行状況の分析・評価については、無料キャンペーン以外の期間も含め、今後詳細に分析しご報告させていただければと考えております。なお、取り急ぎ、無料キャンペーン中の高校生以外の利用者について、運転手等から聞いているところを参考までにご報告しますと、再編時に路線バス間の乗継ぎを周知したこともあり、普段乗らない路線まで乗継いで乗ってみる利用者や、普段よりも利用頻度が増加する利用者、普段は利用しないが試しにバスに乗っている利用者等がいたと聞いております。（北杜市企画課）

- ・無料キャンペーンは今後も実施しますか？

また「路線バスによる地域発見の旅」を提案します。（委員）

<目的>地域内・外の人々による、北杜市内の魅力再発見の旅
路線バスの利用方法を体験・理解してもらう。

<方法>0号車～4号車を乗り継いで、各地域毎の名所、旧跡、新名所等を個人又は家族等に訪れる。

御朱印又は、スタンプラリー形式を採用する。

<期間>無料キャンペーン期間中、又は夏休み中

→ご提案ありがとうございます。今回の無料キャンペーンについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済負担軽減等を目的に実施したもので、現時点では再実施の予定はございません。

ご提案いただいた「地域発見の旅」は路線バスの利用方法を知ってもらうきっかけづくりとして大切な取り組みと考えておりますので、そのような企画の実施検討と合わせて、必要に応じて無料キャンペーンも検討したいと思います。

なお、書面の中でご紹介できませんでしたが、今年度については、白州地区民生委員児童委員協議会にて、道の駅はくしゅうから増富温泉郷まで路線バスで出かけてみようという企画が開催されています。実際にバスに乗ってみたからこそわかったことがあり好評だったと聞いておりますので、同様の企画の実施について継続して支援していきたいと考えております。（北杜市企画課）

○愛称の選定結果について

- ・路線毎の色によるイメージづけはよいことだと思う。車両について、白ベースの1、3号車につい

ては、数字だけでなく、それぞれの色のラインをどこかに（頭 or 腰 or 裾）ラッピングするなど、よりイメージ強化を図ってはいかがか？（委員）

→ご提案ありがとうございます。

ご提案いただいた方法含め、イメージ強化をさらに図る方法を検討したいと思います。（北杜市企画課）

○その他

・北杜市全体の運行状況について、通勤・通学の対応は問題ないが、日中の高齢者の買い物、通院等については、行きは北杜市民バスで行くが帰りのバスがなく、タクシー等になってしまう。難しい問題ですが、増便等も含めて改善検討をお願いします。（委員）

→ご意見ありがとうございます。

広大な市域に集落が点在している北杜市においては、効率的に公共交通を整備・維持していくか難しい状況となっており、限られた車両や予算等の資源の中で、運行可能な便数に限りがあり、利用目的によっては、帰りの便までお待ちいただく場合がどうしても生じてしまっています。

そのような状況ではありますが、改善や工夫の余地がないか、継続的に検討していきたいと思えます。（北杜市企画課）

（２）北杜市民バスの愛称の選定結果について

（意見等なし）

（３）地域公共交通運営委員会の活動状況について

（意見等なし）

2. 協議案件

（１）北杜市民バスの幹線のダイヤ改正について

・JRのダイヤは毎年少し変わるので、合わせ調整は可能な範囲で行うべきで賛成です。（委員）

・このような現実的な変更はよいと思います。この調整結果を利用者にきちんと伝えることが大事だと思います。（委員）

→ありがとうございます。調整結果については、2月末に公開されるJR中央線の3月のダイヤ改正内容とのすり合わせが完了次第、3月15日以降を目途に、幹線の各車両内、市ホームページ、各総合支所窓口にて周知を行う予定となっております。（北杜市企画課）。

・承認するが、ひとつ意見を申し述べさせていただく。今回の幹線のダイヤ改正は主に他の幹線バスとの接続調整やJRのダイヤ改正に対応したものと認識しているが、接続を確保したJR線の長坂駅の降車人数はどの位なのか。例えば長坂駅17:01着の約20分後に到着する列車との人数比較はどうか？調査をしてみたいか？（委員）

→ご提案ありがとうございます。

今回の改正については、現在のダイヤをベースに、他の便や接続に影響を及ぼさない範囲で5分前後の調整を行っております。

今後、大幅な改正を行う際には、JR 中央線の乗降車人数等を調査し、検討したいと思います。なお、20 分程度変更する場合は、便同士の運行間隔が詰まっているため、後続の便についても変更、接続の見直しを伴う影響範囲が広いものとなるため、慎重な検討が必要と考えております。(北杜市企画課)

(承認 25、否認なしにより承認された)

(2) 明野・須玉エリアの支線の改正について

・利用者の利便性を考慮しての改正であり、承認します。(委員)

但し、商業施設敷地内に乗り入れることから、バス利用者の安全を十分に考慮していただきたい。
→ありがとうございます。バス停の設置位置については、現地調査を行い、利便性と安全性のバランスを考慮し選定させていただいておりますが、運行開始後に危険性が確認できた場合は、移動する等柔軟に対応したいと考えます。(北杜市企画課)

・オギノ須玉店へのバス停の設置は、買い物の利便性が高まりとてもよいと思います。白州武川地区では、西線の延伸について提案してきていますが、須玉方面では塩川病院、市庁舎にオギノ須玉店を加えて検討していただきたいと思います。(委員)

→ありがとうございます。

路線バス(幹線)の延伸については、メリットとデメリットがございます。延伸するメリットは、これまで乗継ぎが必要であったところまで乗継ぎなしで行くことができることですが、一方で、デメリットとして、1 便あたりの運行時間が長くなることによる便数の減少があります。特に、県内で最も市域が広い北杜市の場合、このメリットとデメリットをどうバランスさせるかが常に課題となるとともに、一定の部分で、乗継ぎが避けられない現状があります。

3号車 西線につきましては、現状、運転手の休憩時間や回送時間含め、タイトなスケジュールでの運行となっており、延伸については便数を削る等の現利用者へのデメリットも生じる可能性があります。容易ではない点ご理解いただきたく存じます。

今後、現状の利用状況の調査・評価等を行う中で、1つのパターンとしてオギノ須玉店(アクロスプラザ須玉)を含む須玉方面への延伸の実現可能性も検討いたします。(北杜市企画課)

(承認 25、否認なしにより承認された)

(3) デマンドバスの車両配分の変更等について

・白州武川エリアのデマンドバスの利用が少ない状況と、高根長坂大泉エリアのお断り件数増加への緊急的な対策としては理解できます。

しかし、白州武川の運営委員会に事前の提案もなく、事務局で決めてしまい事後報告したことは残念です。せめて、臨時の運営委員会を開催して、状況説明して承認を得るべきではなかったでしょうか。事務局の一存でいつの間にか運営方法が変わってしまうようでは、運営委員会を設置して話し合っている意味がないかと寂しくなります。

従って、白州武川エリア1台の体制を恒常化してしまうのではなく、もとの2台体制に戻してほしいと思います。そのためにもっと大胆で利便性のある運用方法の見直しをすべきだと考えます。なお、この変更を知った白州武川地区の住民から、この地域が軽く扱われているのではないかという不満がでてきてしまうことが危惧されます。(委員)

→令和2年10月の試験的な配車変更開始については、緊急対応とはいえ、事後報告となりました点、申し訳ございません。ただし、当案件については、白州・武川エリア運営委員会において現在の運行に支障がない点を、試験実施後の利用状況・運行状況を踏まえつつ、昨年10月と本年2月の委員会にて確認させていただいております。

また、エリア毎の支線の運行車両台数については、各エリアの平成27年国勢調査に基づく高齢者人口(65歳以上人口)あたりの台数で比較しますと、白州・武川エリアは2,609人あたり車両1台(変更前は1,305人あたり車両1台)、明野・須玉エリアは1,869人あたり車両1台、高根・長坂・大泉エリアは2,048人あたり車両1台(変更前は2,730人あたり車両1台)、小淵沢エリアは1,966人あたり車両1台となっており、変更により著しく不平等が発生したとは言い難く、見方によっては、不平等が是正されたとも言え、現状の利用状況も踏まえるとやむを得ないと考えております。

いずれにしても、車両配車の変更については、あくまで現時点で適切な形に変更させていただきましたが、今後も今回のような需要の増加が見込まれる等の状況によっては、エリアに関わらず、増車等対応したいと考えております。(北杜市企画課)

・高根・長坂・大泉エリアの利用実態(どこから、どの便に、何人くらいなど)について、分析をしてより適切な運用が望まれる。(委員)

→調査・分析を行い、限られた車両をより有効活用した運用ができるよう、今回の高根・長坂・大泉デマンドバスのダイヤ調整のように、引き続き、地域公共交通運営委員会において改善の検討を行います。(北杜市企画課)

(承認24、否認1により、過半数を上回り承認された)

以上